

第 1 回「徳島県公立高等学校魅力化
推進委員会」の概要について

徳島県教育委員会教育創生課

第1回「徳島県公立高等学校魅力化推進委員会」概要

1 日時 令和4年7月29日（金） 午前10時から正午まで

2 場所 徳島県庁9階 教育委員室

3 出席者

(1) 委員 11名全員出席

(2) 県教委 教育次長，教育創生課長，事務局員4名

4 議事概要

(1) 県教育委員会あいさつ（中野教育次長）

(2) 委員紹介

(3) 会長・副会長の選出

互選により，坂本有芳委員を会長に，坂田千代子委員を副会長に，それぞれ選出。

(4) 事務局説明

○本県公立高等学校の現状

○「新時代における徳島県公立高等学校の在り方検討会議」からの提言

○取組事例

(5) 意見交換

5 意見交換において委員から出された主な意見

(1) 教育内容の充実について

- ①どの学校も主には総合的な探究の時間を活用し，特色化・魅力化を図っており，県の事業の活用を考えることも有効である。
- ②普通科においては，大学受験を見据え，基本の勉強を大事にしつつ，生活力や主体性を身につけられる取組を進めていただきたい。
- ③徳島県の高校では，SDGsを推進し，全てのプログラムを持続可能な方向へと取り組んでいくことで，県外の人たちに対して特徴づけができるのではないかと。
- ④インターハイ総合開会式でのダンス部のように，徳島県の公立高校でも全国レベルの指導を受けられるといった打ち出し方ができればいい。

(2) 魅力発信について

- ①全国募集をしている他県の学校でのPR活動も含めた生徒主体の活動は，とても魅力的で参考にできるのではないかと。
- ②県内の高校の特色ある取組や生徒たちの活躍については，まだ知られていない部分もあり，その発信というのも重要な課題である。

(3) その他

- ①スクール・ミッションとスクール・ポリシーがあることによって，小中学生が保護者とともに自分の将来について多少でも考え，自己分析ができるといい。
- ②学校運営協議会を設置している学校では，どのような協議を行い，どういった活動がされているのか情報共有できる機会があればいい。

※ 今後の魅力化推進委員会のスケジュール（予定）

令和4年 10月7日 第2回魅力化推進委員会

11月下旬 第3回魅力化推進委員会

令和5年 1月頃 第4回魅力化推進委員会

第1回徳島県公立高等学校魅力化推進委員会

次 第

日時 令和4年7月29日（金）

午前10時から

場所 徳島県庁9階 教育委員室

- 1 開会
- 2 教育次長あいさつ
- 3 委員及び事務局職員紹介
- 4 設置目的・検討事項の説明
- 5 会長・副会長の選出
- 6 議事
 - (1) 本県公立高等学校の現状
 - (2) 「新時代における徳島県公立高等学校の在り方検討会議」からの提言
 - (3) 取組事例
 - (4) 意見交換
 - (5) その他
- 7 閉会

配付物一覧

- (1) 推進委員会次第（本紙）
- (2) 会場配席図

[資料]

- | | |
|------|-------------------------------|
| 資料1 | 徳島県公立高等学校魅力化推進委員会設置要綱 |
| 資料2 | 徳島県公立高等学校魅力化推進委員会委員一覧 |
| 資料3 | 「新時代における徳島県公立高等学校の在り方検討会議」報告書 |
| 資料4 | 取組事例（海部高校） |
| 資料5 | 今後の開催スケジュール（予定） |
| 参考資料 | 令和5年度徳島県公立高等学校入学者選抜について |

徳島県公立高等学校魅力化推進委員会設置要綱

(設 置)

第1条 徳島県公立高等学校の特色化・魅力化推進に向けた取組の検討を行うことを目的として、「徳島県公立高等学校魅力化推進委員会」(以下「推進委員会」という。)を設置する。

(検討事項)

第2条 推進委員会は、次に掲げる事項について検討を行う。なお、検討結果については、徳島県教育委員会教育長(以下「教育長」という。)に報告するものとする。

- (1) 公立高等学校のスクール・ポリシーに基づく教育活動の推進方策
- (2) 公立高等学校の普通科を中心とした特色化・魅力化に向けた取組等

(委 員)

第3条 推進委員会は、委員11名以内で組織する。

- 2 委員は、学識経験者、行政関係者及び学校関係者のうちから、教育長が委嘱する。
- 3 委員の任期は、第2条に掲げる報告が終了するまでとする。
- 4 欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会 長)

第4条 推進委員会に、会長1人及び副会長1人を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。
- 3 会長は、推進委員会を代表し、会議の議長となる。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会 議)

第5条 推進委員会の会議は、会長が招集する。

- 2 推進委員会の会議は、委員の半数以上の出席がなければ、開くことができない。
- 3 会長は、必要があると認められるときは、委員以外の者に出席を求め、意見若しくは説明を聴くことができる。

(庶 務)

第6条 推進委員会の庶務は、徳島県教育委員会教育創生課において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、推進委員会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則 この要綱は、令和4年7月29日から施行する。

徳島県公立高等学校魅力化推進委員会委員一覧

令和4年7月29日現在

氏名	役職等
市岡 沙織	市岡製菓株式会社 代表取締役社長
大杉 雅一	徳島市名東郡PTA連合会 副会長
大西 浩正	特定非営利活動法人牟岐キャリアサポート 理事長
坂田 千代子	株式会社あわわ 会長
坂本 有芳	鳴門教育大学大学院学校教育研究科 教授
先田 仁美	徳島県PTA連合会 会長
霜田 泰徳	阿南市立阿南中学校 校長
瀬尾 陽子	徳島県高等学校PTA連合会 副会長
竹内 明裕	三好市教育委員会 教育長
福谷 あずさ	ケーブルテレビ徳島株式会社 コンテンツ事業部編成グループ 係長
湊 雅邦	徳島県高等学校長協会 会長 徳島県立城ノ内中等教育学校・高等学校 校長

※ 50音順 敬称略

徳島県立 海部高等学校

～特色化・魅力化に向けた取組～



海部高校の概要



- ・校訓「絆・学・夢」
- ・設置学科・
令和4年度募集定員
 - 普通科 60名
 - 情報ビジネス科 20名
 - 数理科学科 30名
- ・スクール・ミッション及び
スクール・ポリシー
- ・県外募集 人数制限なし

令和4年度在籍数（5月1日時点）

学 科	在 籍 数		
	1 年	2 年	3 年
普 通 科	59	48	56
情報ビジネス科	20	18	15
数理科学科	31	29	26
計	110	95	97
県外生	15	10	13

※県外生：生徒のみの転住者（高知県東洋町を除く）

海部高校は、**どんな学校？**



イングリッシュキャンプ



トップアスリート講演会



活発な部活動



京都賞授賞式参加



伝統文化継承活動



新たな寮の完成

ふるさと創生拠点ハイスクール推進事業（平成30年度～）

- 人口減少が急速に進む地域にある**海部高校の魅力化や活性化**を通じた地域の新たな活力の創出
- **豊かな資源を活かした教育プログラム**の確立・展開
- 海部高校の**魅力の効果的な発信**
- 寄宿舍の増設など、増加する**県外からの入学生**の**受入体制の整備**



SDGs を軸とした地域学習「海部学」

・ 地域の自然や文化を学ぶ



・ 地域の大人から学ぶ



海陽町の魅力を高校生がPR動画で発信！

- 映像のプロによる授業を受け、高校生が地域へ飛び出して取材！



- 編集した動画はYouTubeで公開！

YouTubeで「海部高校×SDGs」と検索してみてください！

I C Tを活用した学習環境！

生徒全員にタブレットP Cを貸与

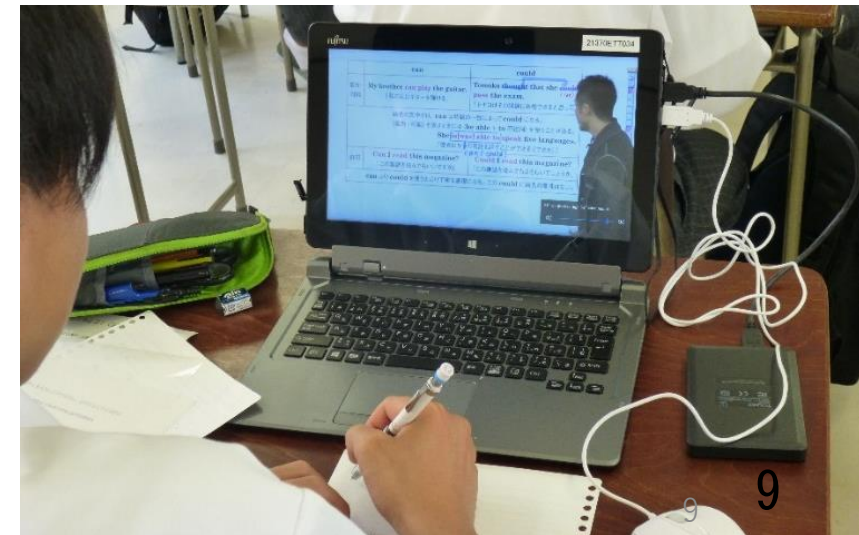
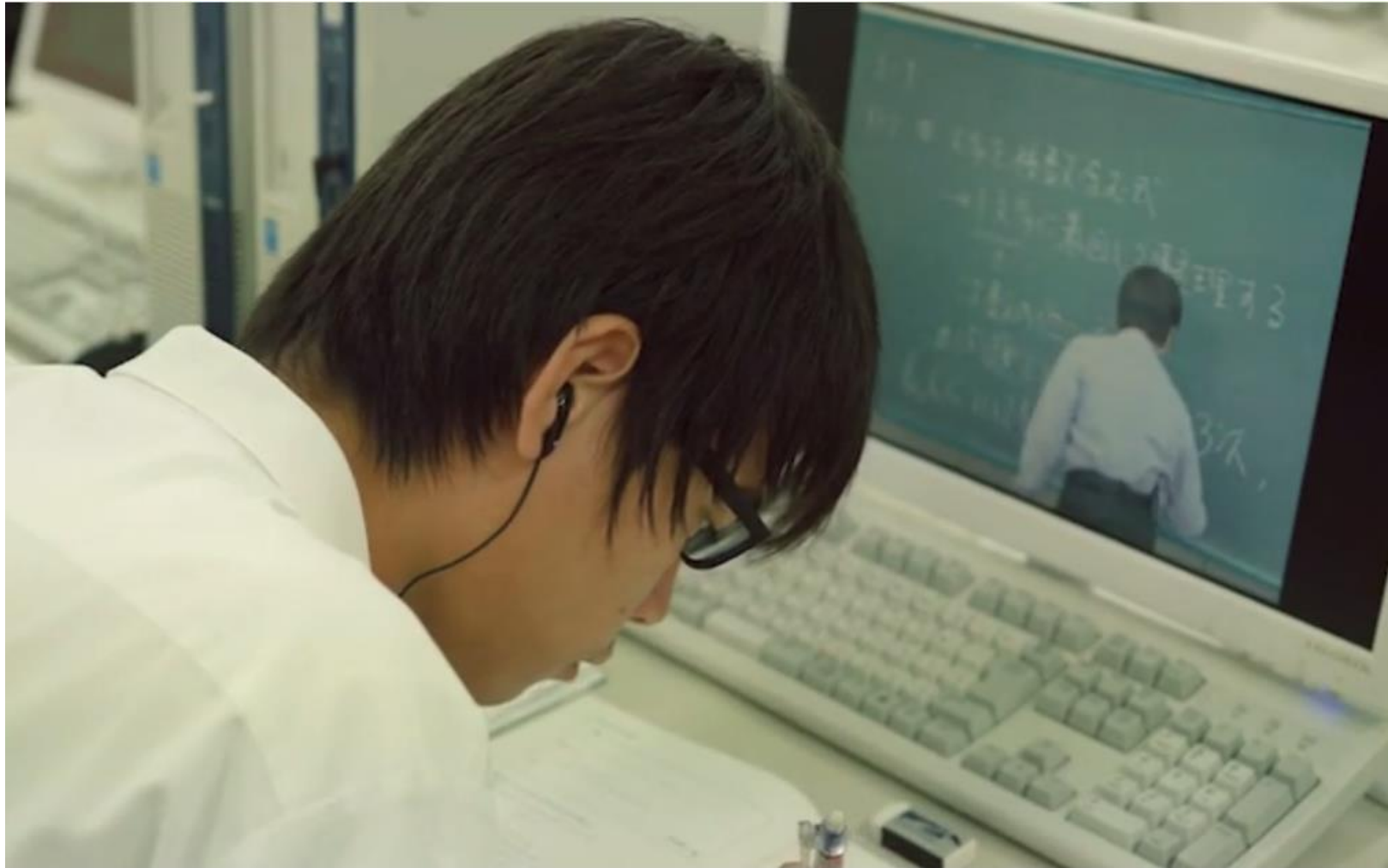
通年の遠隔授業を実施



I C Tを活用した学習環境！

通信映像講座（駿台サテネット）

教育プラットフォーム（Classi）



グローバル教育の充実！

海外のネイティブスピーカーとのオンライン英会話



英語検定の合格者増加中！
全国コンテストの上位入賞！

グローバル教育の充実！



短期留学先の様子（H30）

グローバル研修プログラム

- ・アメリカへの短期留学
- ・事前・事後研修にICT活用
- ・高校卒業後の海外留学もサポート



一人ひとりにきめ細やかな指導体制！

授業は少人数！ 放課後は、いつでも、どこでも質問タイム！



地域に支えられる青春！

- ・ 地域の方が県外入学生を応援



<ウチごはん>

- ・ 地域有志の方が寮生の休日の食事を提供

<身元引受人紹介制度>

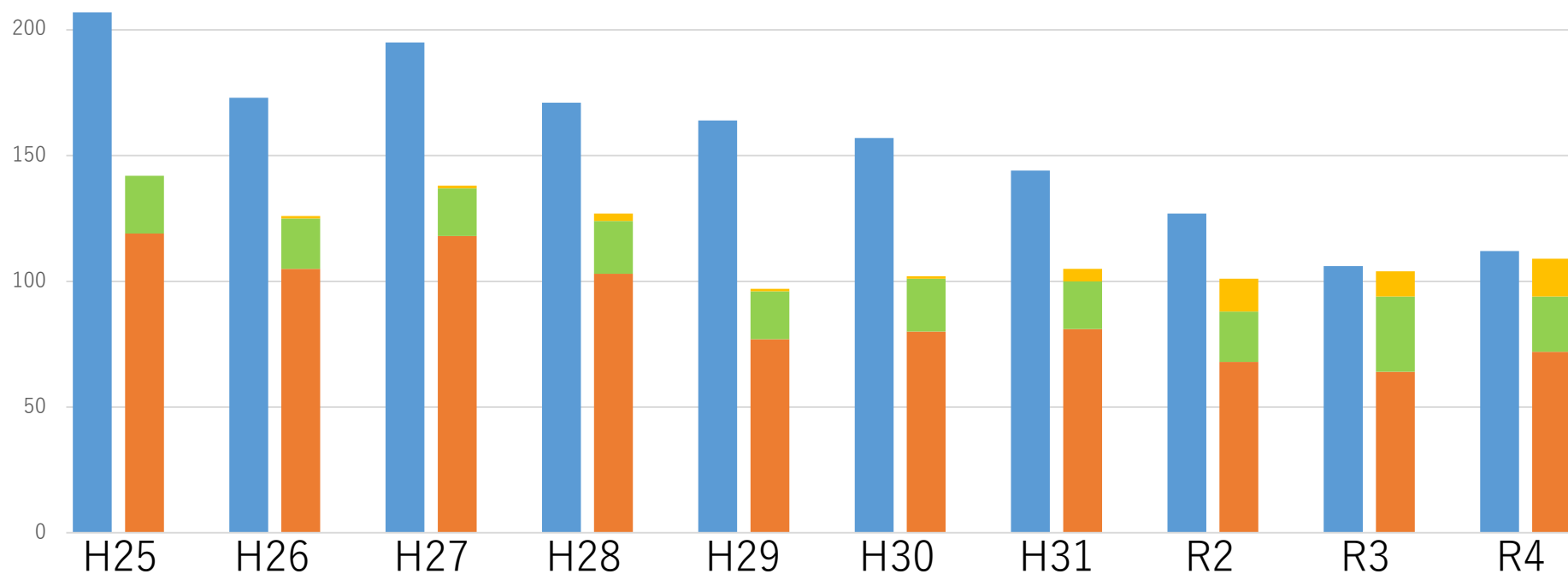
- ・ 受検に必要な保証人をPTA会長が引受け

<まち親制度>

- ・ 地域ボランティアによる県外生生活支援

海部郡の中3生と海部高校入学生の推移

(人) 250



入学年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4
郡内中3生	207	173	195	171	164	157	144	127	106	112
郡内入学生	119 57%	105 61%	118 61%	103 60%	77 47%	80 51%	81 56%	68 54%	64 60%	72 64%
郡外入学生	23	20	19	21	19	21	19	20	30	22
県外入学生		1	1	3	1	1	5	13	10	15

スクール・ミッション 及び スクール・ポリシー について

1 スクール・ミッションとは

各公立高等学校等の存在意義や期待される社会的役割, 目指すべき学校像。
徳島県教育委員会及び徳島市教育委員会が策定（再定義）（令和3年4月）。

2 スクール・ポリシーとは

各公立高等学校等の教育活動の指針となる3つの方針。
スクール・ミッションを受け, 各公立高等学校等が課程・大学科ごとに策定（令和3年6月）。

【育成をめざす資質・能力に関する方針】

高校卒業までに生徒に身に付けさせようとする資質・能力

【教育課程に関する方針】

新学習指導要領に即した学校ならではの特色ある教育内容

【入学者の受入れに関する方針】

高校入試で志願してほしい生徒の資質・能力

3 スクール・ミッション及びスクール・ポリシーの活用

昨年度から入学者選抜に係る「生徒募集案内」に記載。
令和5年度入試からは, 育成型選抜において, 新たに「スクール・ポリシーに関連した分野」の募集を実施。

徳島県立海部高等学校 [全日制課程]

○スクール・ミッション

県内外から集う仲間とともに、「SDGsを軸とした地域学習（海部学）^{あまべがく}」や「オンライン英会話」、「起業体験」など、多様なニーズに対応した教育活動をとおして、地域の未来を担うために必要となる力を育成します。

○スクール・ポリシー

普通科

【育成をめざす資質・能力に関する方針】〈このような力を育てます〉

- (1) あいさつや礼儀を大切にし、人に愛される豊かな人間性を育成します。
- (2) 自ら課題を見つけ、主体的に課題を解決していく力を育成します。
- (3) 夢と志を持ち、自己実現に向けて困難に打ち克つ力を育成します。
- (4) 学習習慣の定着を図り、主体的に学ぶ態度を育成します。
- (5) 望ましい職業観や進路意識を育成します。

【教育課程に関する方針】〈このような教育活動を行います〉

- (1) 2年生から自然科学コースと人文社会コースを設定しています。
- (2) 『フードデザイン』『生涯スポーツ』等、多様な選択科目を設定しています。
- (3) 英語のスピーキング力を伸ばすため、オンライン英会話を実施します。
- (4) 通信映像講座、学習支援クラウドサービスによる学習支援を実施します。
- (5) 総合的な探究の時間は「地域の教育力を生かしたSDGs」に取り組みます。
- (6) グローバル感覚を養うため、「海外語学研修」を設定しています。

【入学者の受入れに関する方針】〈このような生徒を待っています〉

- (1) 積極的に学習に取り組み、関心ある分野を探究できる生徒を募集します。
- (2) 自らの将来を見据えた進路選択に向け、努力を惜しまない生徒を募集します。
- (3) 何事に対してもチャレンジ精神をもって取り組む生徒を募集します。
- (4) 周りの人と協働し、行動できる生徒を募集します。
- (5) 部活動等に積極的に取り組み、入学後も継続して活動する生徒を募集します。

商業科 (情報ビジネス科)

【育成をめざす資質・能力に関する方針】〈このような力を育てます〉

- (1) あいさつや礼儀を大切にし、人に愛される豊かな人間性を育成します。
- (2) 自ら課題を見つけ、主体的に課題を解決していく力を育成します。
- (3) 夢と志を持ち、自己実現に向けて困難に打ち克つ力を育成します。
- (4) 学習習慣の定着を図り、主体的に学ぶ態度を育成します。
- (5) 望ましい職業観や進路意識を育成します。

【教育課程に関する方針】〈このような教育活動を行います〉

- (1) ビジネス情報分野を中心に、マーケティング分野・会計分野に取り組みます。
- (2) 商業の各分野に関連する技術を身につけ、資格取得に取り組みます。
- (3) 「次世代経営者育成プログラム」による起業家精神の育成に取り組みます。
- (4) 通信映像講座、学習支援クラウドサービスによる学習支援を実施します。
- (5) 総合的な探究の時間は「地域の教育力を生かしたSDGs」に取り組みます。
- (6) グローバル感覚を養うため、「海外語学研修」を設定しています。

【入学者の受入れに関する方針】〈このような生徒を待っています〉

- (1) 情報化社会に対応するビジネスに興味・関心のある生徒を募集します。
- (2) 商業に関する分野の知識や技術の習得に意欲的に取り組む生徒を募集します。
- (3) 各種資格取得に積極的に取り組み、自らの進路を切り拓く生徒を募集します。
- (4) 周りの人と協働し、行動できる生徒を募集します。
- (5) 部活動等に積極的に取り組み、入学後も継続して活動する生徒を募集します。

理数科 (数理科学科)

【育成をめざす資質・能力に関する方針】〈このような力を育てます〉

- (1) あいさつや礼儀を大切にし、人に愛される豊かな人間性を育成します。
- (2) 自ら課題を見つけ、主体的に課題を解決していく力を育成します。
- (3) 夢と志を持ち、自己実現に向けて困難に打ち克つ力を育成します。
- (4) 学習習慣の定着を図り、主体的に学ぶ態度を育成します。
- (5) 望ましい職業観や進路意識を育成します。

【教育課程に関する方針】〈このような教育活動を行います〉

- (1) 大学進学を見据えた、文系・理系に対応できる選択科目を設定しています。
- (2) 学年を超えた生徒相互による「学び」に取り組みます。
- (3) 英語のスピーキング力を伸ばすため、オンライン英会話を実施します。
- (4) 通信映像講座、学習支援クラウドサービスによる学習支援を実施します。
- (5) 総合的な探究の時間は「地域の教育力を生かしたSDGs」に取り組みます。
- (6) グローバル感覚を養うため、「海外語学研修」を設定しています。

【入学者の受入れに関する方針】〈このような生徒を待っています〉

- (1) 中学での学びについて、総合的な学力を有している生徒を募集します。
- (2) 英語や数学に優れた能力と興味・関心を持つ生徒を募集します。
- (3) 科学的・論理的思考力に優れた生徒を募集します。
- (4) 将来の進路を見据え、粘り強く学び続ける生徒を募集します。
- (5) 高校での学びを生かし、大学進学を強く希望する生徒を募集します。

コミュニティ・スクール ～地域とともにある学校づくり～

子供や学校の抱える課題の解決、未来を担う子供たちの豊かな成長のためには**社会総掛かりでの教育の実現**が不可欠です。

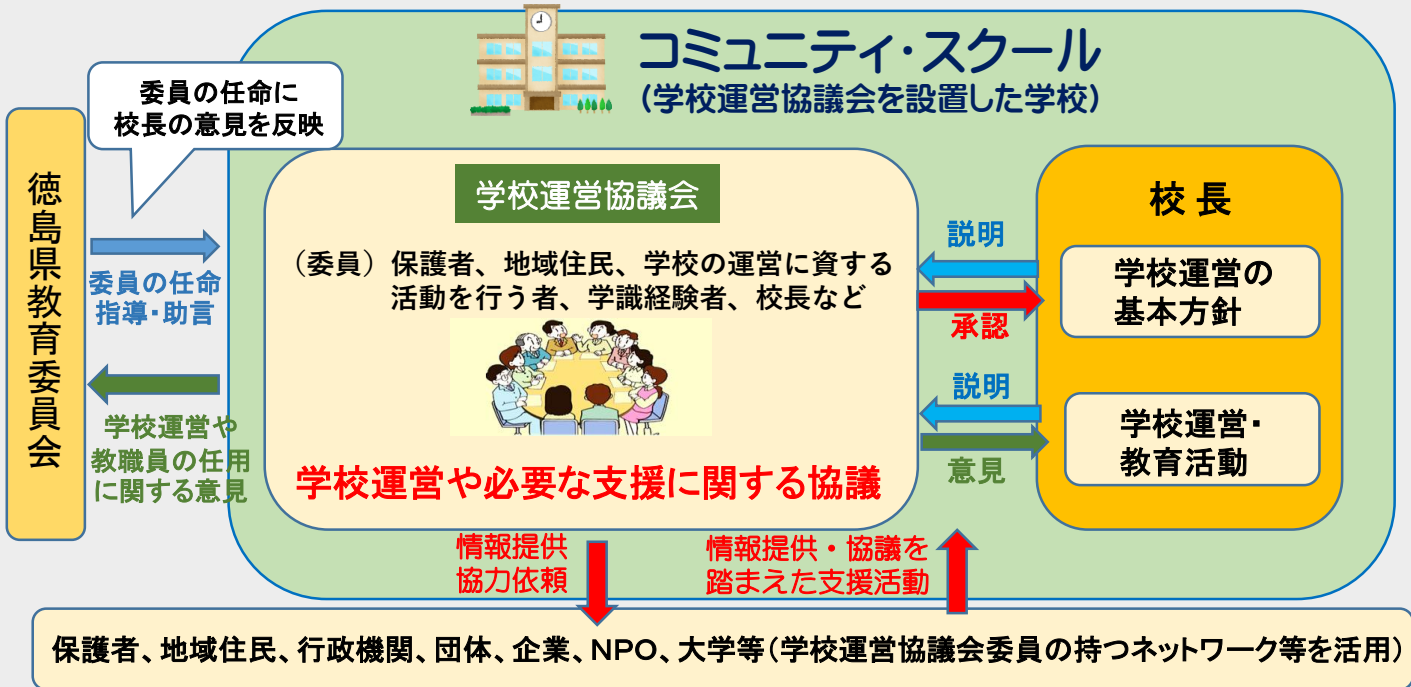


コミュニティ・スクールとは

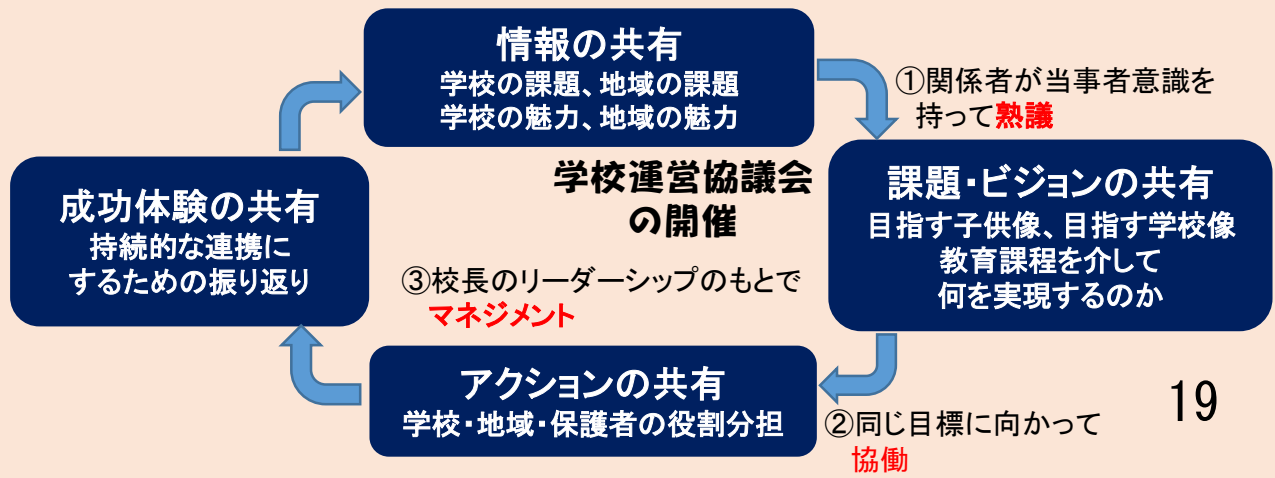
コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は、「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。
また、学校運営協議会を設置した学校のこともコミュニティ・スクールと呼びます。

令和4年度末までに
全ての県立学校に
コミュニティ・スクールを
導入します。

コミュニティ・スクールのイメージ



運営のポイント(熟議・協働・マネジメント)



コミュニティ・スクールの取組で広がる魅力

子供にとって

- 学びや体験活動が充実する。
- 地域との交流を通して自己肯定感や他人を思いやる心が育つ。
- 地域の担い手としての自覚が高まる。
- 防犯・防災等の対策によって安心・安全な生活ができる。

教職員にとって

- 地域の人々の理解と協力を得た学校運営や「社会に開かれた教育課程」の実現が可能になる。
- 地域人材を活用した教育活動が充実する。
- 地域の協力により子供と向き合う時間が確保できる。

保護者にとって

- 学校や地域に対する理解が深まる。
- 地域の中で子供が育てられているという安心感がある。
- 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できる。

地域の人々にとって

- 経験を生かすことで生きがいや自己有用感につながる。
- 学校を中心に地域がつながり、地域の活動が活発になる。
- 地域の防犯・防災体制等の構築ができる。

コミュニティ・スクールにおける地域と連携した取組例

令和2年度導入校

まずは既存の取組のさらなる充実から！

徳島県立那賀高等学校



地元企業の協力を得たインターンシップの実施（キャリア教育の充実）

徳島県立海部高等学校



地域コーディネーターの仲介による、SDGsに取り組む地元企業を招いてのブースセッションの開催

徳島県立名西高等学校



大学教員や地域人材による、エシカル消費をテーマとした出前授業の実施（探究学習の充実）

全国の取組例

- ・企業や大学等の専門性を生かした出前授業
- ・地域人材を活用した特別講座・フィールドワーク
- ・地元小・中学校との交流、共同学習の充実
- ・地元特産品を使用した商品開発
- ・地域の祭りへの参画
- ・障がいのある子供たちの地域生活を支えるネットワーク会議の開催（高等部をもつ特別支援学校としての企業・施設・団体等との関係づくり）
- ・地域と連携・協働して行う防災教育
- ・学習支援や環境整備などの学校支援

より詳しく知りたい方へ

『コミュニティ・スクール2018』（文部科学省）

『コミュニティ・スクールのつくり方（「学校運営協議会設置」の手引き）（令和元年改訂版）』（文部科学省）

『これからの学校と地域 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動』（文部科学省）

これらのパンフレットは文部科学省「学校と地域でつくる学びの未来」HPよりご覧いただけます。

<https://manabi-mirai.mext.go.jp/document/pamphlet/index.html>



【コミュニティ・スクールに関する問合せ】

徳島県教育委員会 〒770-8570 徳島県徳島市万代町1丁目1番地
学校教育課 TEL:088-621-3134 FAX:088-621-2882
特別支援教育課 TEL:088-621-3142 FAX:088-621-3056



特集

すべての子ども一人一人に、 最もふさわしい教育を

2021年度「徳島県GIGAスクール構想」スタート!



写真はイメージです。© visual supple/amanaimages

令和時代の 新しい教育スタイルへ 「徳島県GIGAスクール構想」

今やスマートフォンは1人1台の時代に。仕事でも家庭でも、社会のあらゆる場面でICTは欠かせないものとなっています。それに拍車をかけるように、2020年は新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、リモートワークや在宅ワークの人も増え、ICTの社会全体への浸透が急速に進んだ一年となりました。

学校教育では、2020年度から小学校を皮切りに順次実施されている学習指導要領において、「情報活用能力の育成」や「ICTを活用した学習活動の充実」が明記されるとともに、これを実現するために必要な「児童生徒の1人1台端末」をはじめとするICT環境の整備を目的として、全国知事会などの強い働きかけにより、国から「GIGAスクール構想」が打ち出されました。

これを受け、徳島県では、全国屈指の光ブロードバンド環境を活用し、児童生徒1人1台端末と、高速大容量の校内通信ネットワーク、各普通教室へのWi-Fi環境などを一体的に整備しています。これにより、児童生徒一人一人に応じた「個別最適化された学び」を実現するとともに、Society5.0時代に活躍する「未知を切り拓く人材の育成」を全国に先駆けて実践します。

Q. 「GIGAスクール構想」って?

A. 児童生徒1人1台端末と、高速大容量の校内通信ネットワークを一体的に整備することで、多様な子どもたち一人一人に個別最適化された、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境の実現をめざす構想。

要するに、デジタル革新が進むSociety5.0時代に生きる子どもたちが、鉛筆やノートと同じように「自分専用のパソコンやタブレット端末」を持ち、授業で活用することが、当たり前となる環境を整えていくということです。

GIGAは、Global and Innovation Gateway for Allの略。

Q. どんな児童生徒を対象にしているの?

A. 国のGIGAスクール構想の対象は、国公立小中学校が中心です。加えて徳島県では、国の構想では対象外となっている県立高校、特別支援学校高等部、私立高校の生徒も対象とし、1人1台のタブレット端末を整備・貸与します。これにより、小中高一貫した新たなオンライン教育環境を全県的に構築することとしています。

Q. どのように活用するの?

A. 1人1台のパソコンやタブレット端末を使用して、

- インターネットを活用した調べ学習・交流学习
 - 授業支援ソフトを活用した思考の可視化や意見の共有などの協働学習
 - AI・ビッグデータを活用した、一人一人の理解度・教育ニーズに応じた学校や家庭での個別学習
 - Web会議や学習動画などを活用したオンライン学習
 - 災害時や感染症発生時における臨時休業などの際にインターネットを活用したオンラインでの在宅学習
- などの新たな学びが実現できます。



徳島県GIGAスクール構想とは

目標 1人1台端末を積極的に活用し、平時、有事を問わず、多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを推進する。



Society5.0に活躍するチェンジメーカーの育成

新時代に対応した資質能力の育成

先端技術の活用による学びの変革

- 多様な教材（動画，画像，文献等）を利用して**学びを深化**
- Web会議を利用した海外等との学習活動により知見を広め**国際感覚を育成**
- **AI・ビッグデータ**を活用した**個別最適化された学びの実現**
- **高等教育機関との連携**による探究型教育の充実
- 特別な支援を必要とする児童生徒の資質・能力の育成
- オンライン教育による**平時・有事を問わない学びの連続性確保**

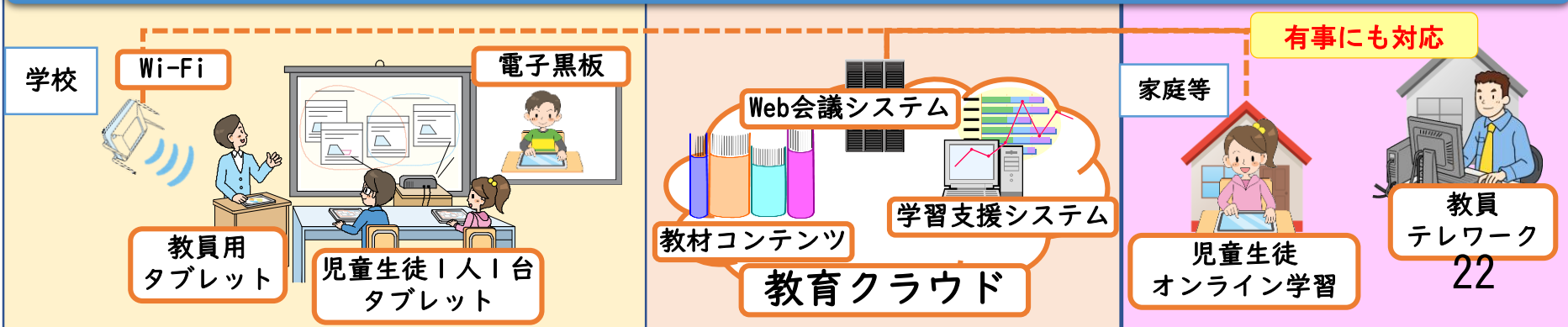


発達段階に応じた施策の実施

授業の変革による児童生徒の学びを深化

全国屈指の光ブロードバンド環境を活用したICT環境を小中高特別支援学校へ一体的に整備

ネットワーク基盤 高速大容量のネットワーク，各普通教室等へのWi-Fi環境整備



今後の開催スケジュール（予定）

第1回推進委員会 令和4年7月29日（金）

- 会長・副会長の選出
- 「在り方検討会議」報告書について
- 取組事例

第2回推進委員会 令和4年9月頃

- 取組事例 3校程度
- 公立高等学校のスクール・ポリシーに基づく教育活動の推進方策について
- 公立高等学校の普通科を中心とした特色化・魅力化に向けた取組等について

第3回推進委員会 令和4年11月頃

- 取組事例 3校程度
- 公立高等学校のスクール・ポリシーに基づく教育活動の推進方策について
- 公立高等学校の普通科を中心とした特色化・魅力化に向けた取組等について

第4回推進委員会 令和5年1月頃

- 推進委員会報告書（案）について

報告 令和5年2月頃

推進委員会から徳島県教育委員会へ

中学生・保護者の皆様へ

令和5年度入学者選抜から 徳島県公立高等学校の 入学者選抜が変わります

現在の中学2年生から対象です

新しい入学者選抜のポイント！

- これまでの特色選抜に替わり、育成型選抜（活動重視枠、^{かつどう}実績重視枠）を新たに始めます。
- 育成型選抜では、運動分野のほか、文化分野や各高校のスクール・ポリシーに関連した分野で募集します。
- 一般選抜の学力検査では、各高校が教科の傾斜配点を導入する場合があります。

令和5年度公立高等学校入学者選抜の概要

令和5年2月上旬

育成型選抜

運動分野、文化分野、
スクール・ポリシーに関連した分野
で募集します

連携型選抜(※1)

現在の選抜と変更ありません

令和5年3月上旬～中旬

一般選抜(※2)

学力検査で傾斜配点を
導入する高校があります

(※2) 選抜資料は、調査書と
学力検査・面接等

令和5年3月下旬

第2次募集選抜
現在の選抜と変更ありません

(※1) 那賀高校または阿波西高校と
連携する中学校を卒業する生徒
を対象とした選抜

令和3年12月
徳島県教育委員会
徳島市教育委員会

新しい入学者選抜について

① 育成型選抜では、

「^{かつ どう}活動重視枠」と「^{じっ せき}実績重視枠」の2つの枠で募集

「活動重視枠」は、学習や部活動など、中学校での活動全般を重視する選抜

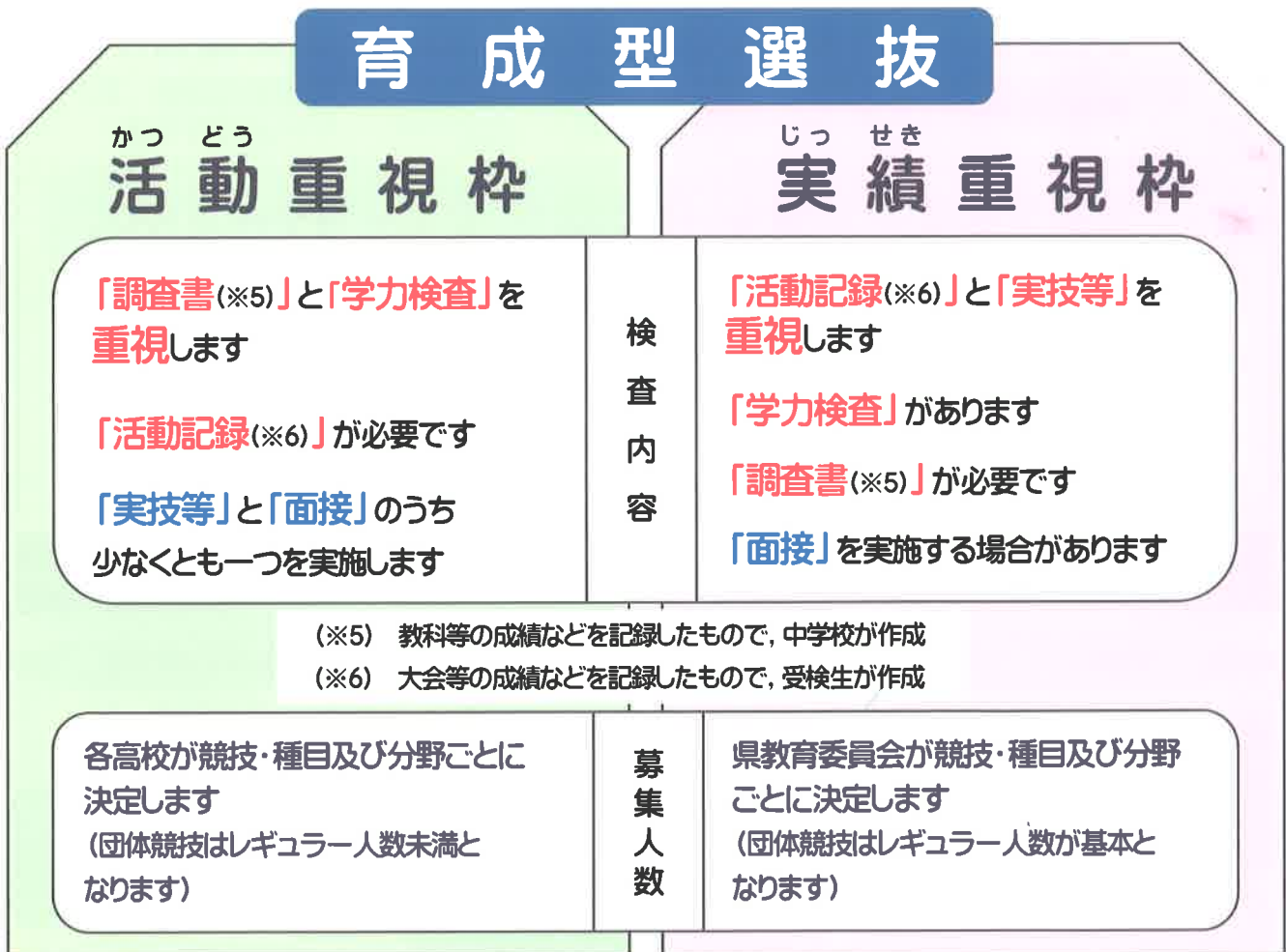
運動分野と文化・ポリシー分野^(※3)で募集

「実績重視枠」は、競技力や大会成績など、中学校での部活動等の実績を重視する選抜

運動部指定競技と文化部指定分野で募集^(※4)

(※3) 文化部活動やスクール・ポリシーに関連した分野

(※4) 実績重視枠には、鳴門渦潮高校体育科と名西高校芸術科を含む



(※5) 教科等の成績などを記録したもので、中学校が作成

(※6) 大会等の成績などを記録したもので、受験生が作成

○「活動重視枠」と「実績重視枠」では、個別面談^(※7)の開始時期が異なります

(※7) 出願前に高校が特定の生徒に対して、部活動等の特色を説明する面談

「スクール・ポリシー」とは、各高校がそれぞれの教育の特色や方針を定めたものです。

各高校のスクール・ポリシーは、次のQRコードから確認できます。



かつどう
【活動重視枠について】

活動重視枠では、各高校が、より特色を出して活性化したい運動分野、文化分野やスクール・ポリシーに関連した分野で募集します。

運動分野、文化分野については、各高校の部活動等のなかから、募集する競技・種目や分野が定められます。

スクール・ポリシーに関連した分野については、学科に関連した理数、外国語、農業、工業、商業や環境、地域貢献などが考えられます。

じっせき
【実績重視枠について】

実績重視枠では、運動部指定競技に加え、新たに、文化部指定分野でも募集します。

- 各高校は、「活動重視枠」と「実績重視枠」ともに、それぞれ募集する競技・種目や分野ごとに、出願要件(出願に必要な条件)をあらかじめ示すことにしています。



② 一般選抜の学力検査では、
各高校のスクール・ポリシーに基づいた傾斜配点を導入

一般選抜の学力検査において、各高校・学科の特色をより反映させることができるように、各高校は、スクール・ポリシーに基づいた傾斜配点を採用することが可能となりました。

傾斜配点を採用することで、普通科や工業科など学科ごとに特定の教科の配点を高めることができるようになります。

各教科 100 点、5 教科合計 500 点が基本ですが、傾斜配点を採用した教科の加点部分の合計は 100 点まで、5 教科合計は 600 点まで可能としています。

- 傾斜配点を導入する高校と配点は、令和 4 年 2 月下旬頃に公表します。



令和 5 年度公立高等学校入学者選抜の基本的な方針の
詳しい内容は、次の QR コードから確認できます。



Q1 育成型選抜の「活動重視枠」と「実績重視枠」で、重視する検査内容が違いますが、どのような違いがありますか。

A1 「活動重視枠」と「実績重視枠」では、それぞれの枠で重視する検査内容の配点が、他の検査内容に比べて高くなっています。

「活動重視枠」では、中学校が作成し出願時に提出する「調査書」と、検査日に実施する「学力検査」の配点が高くなっています。

一方、「実績重視枠」では、部活動等の実績等について受検生が作成し出願時に提出する「活動記録」と、検査日に実施する「実技等」の配点が高くなっています。

Q2 育成型選抜の「活動重視枠」と「実績重視枠」の学力検査に違いはありますか。

A2 「活動重視枠」と「実績重視枠」の学力検査問題は共通です。中学校で学ぶ基本的な内容に加え、思考力を用いて解く問題も出題する予定です。

Q3 育成型選抜の「活動重視枠」における文化・ポリシー分野での実技等とはどのようなものですか。

A3 文化・ポリシー分野での実技等の内容については、各高校が定めますが、実技検査のほか、意見発表や口頭試問(※8)などが考えられます。

(※8)口頭試問とは、教科や学科に関連する質問に対し、受検生が口頭での回答を行ったり、ホワイトボード等を用いて説明をしたりする方式の検査

Q4 育成型選抜に出願するには、運動分野や文化分野で、中学校の部活動で活動する必要がありますか。

A4 各高校が示す出願要件を満たしていれば、中学校の部活動以外の活動でも出願は可能です。

Q5 育成型選抜における、各高校の募集分野・種目、募集人数及び出願要件については、いつ頃、公表されますか。

A5 令和4年2月下旬頃に公表する予定です。ただし、「実績重視枠」の募集分野・種目、募集人数については、令和3年12月に公表します。

徳島県公立高等学校入学者選抜の情報は、「徳島県入試情報サイト」に掲載しています。

「徳島県入試情報サイト」のURL <https://nyuushi.tokushima-ec.ed.jp>



(問合せ先) 徳島県教育委員会 教育創生課 新未来教育担当
〒770-8570 徳島市万代町丁目番地
電話番号 (088) 621 - 3120
E-mail kyouikusouseika@pref.tokushima.jp